

2006年度 経営学部 活動報告

北 海 学 園 大 学 経 営 学 部

2006 年度 経営学部活動報告

「本大学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって積極的に情報を提供するものとする。」（北海学園大学学則第2条の3）という規定により、経営学部では、論集委員が一年間の教育研究活動等で特筆できる事項や行事（イベント）を各種委員長の協力のもとで作成しました。2006年度は、下記の通りです。

1. ニトリ寄附講座『流通・サービスを科学する』
2. ニトリ寄附講座の出版活動
3. 産官学連携事業（北海道経済産業局）
4. 北海学園大学経営学部 秋の産学連携講座『金融証券講座』
5. 北海学園大学経営学部 産学連携講座『金融特別講座』
6. 北海学園大学経営学部 企業研修
7. 第4回経営学部の市民公開講座『ヒューマンエラーの心理学』（後援：札幌市教育委員会）
8. 海外総合実習プログラム
9. 高校生向け授業（出前講義，高大連携授業）
10. 就職内定状況
11. 人事異動等

図表2 ニトリ寄附講座『流通・サービスを科学する』前期講義の活動報告

前期テーマ：『北海道企業の本質―流通・サービスにおける北海道企業の競争力の源泉―』

日 程：2006年5月10日～7月19日，隔週水曜日 16：00～17：20，17：40～19：00

会 場：7号館D 20 番教室

概 要：北海道の地域性，特殊性，資源的な優位性などから，北海道企業の強み，競争優位性，北海道企業が育成すべきコアコンピタンスなどを提示するとともに，北海道の企業が全国および全世界に展開する上で，それらの優位性をどのように活用していくのかといった視点について，主に流通・サービスの側面から講座を開催しました。

月 日	講 師	タイトル	聴講者	
1 5月10日(水)	(株)ニトリ代表取締役社長 似 鳥 昭 雄 (写真：左)	ニトリの競争力の源泉	550	
	東京大学名誉教授 林 周 二	社会現象の予測は可能か ―マーケティング，流通に関連して―	340	
2 5月24日(水)	(株)インファーマシーズ代表取締役社長 大 谷 喜 一	企業の変革とそのプロセス	450	
	北海道知事 高 橋 はるみ (写真：右)	北海道経済の活性化に向けて ―流通・サービスへの期待―	390	
3 6月7日(水)	ホームマック(株)代表取締役会長 前 田 勝 敏	時代認識と組織	440	
	日本銀行札幌支店長 遠 山 浩	北海道経済の現状と課題	230	
4 6月21日(水)	(株)アークス代表取締役社長 横 山 清	潮目にチャンスあり ―アークス 5000 億円構想―	450	
	北海道経済産業局長 内 山 俊 一	北海道経済の革新 ―チャレンジャーを積極的に応援―	320	
5 7月5日(水)	(株)アレフ代表取締役社長 庄 司 昭 夫	理念と戦略	380	
	北洋銀行会長 高 向 巖	北海道経済の再構築に向けて	220	
6 7月19日(水)	石屋製菓(株)代表取締役 石 水 勲	I Love 北海道	240	
	プリモリサーチジャパン代表 鈴 木 孝 之	小売業の「産業化」における「北海道 現象」企業の功績	230	
			延べ	4,240
			平均	353



図表3 ニトリ寄附講座『流通・サービスを科学する』後期講義の受講案内

北海学園大学経営学部・大学院経営学研究科
2006年度

株式会社ニトリ寄附講座

「流通・サービスを科学する」
後期テーマ：
新たなビジネスモデルの構築にむけて
—流通・サービスにおける地域化(リージョナリズム)とグローバル・スタンダード—

本学経営学部と大学院経営学研究科は、株式会社ニトリからの寄付により、2005年4月より企業経営に特化する寄附講座を開始しており、2006年度も引き続き行っています。受講は、日本を代表する流通業の研究者、企業経営者を講師に迎え、制度的変遷に即して全国、全世界で競争力を発揮するビジネスモデル、グローバル地域化の促進・サービスの提供などをご講演いただきます。受講生としては大学院生、在学生のふしかならず、講師の先生、地域の専門家からもご参加いただけます。ぜひ「ニトリ」が創りだした

後期受講者募集

後期受講者募集

後期受講者募集

開催日時

2006年10月4日(水)～12月13日(水)
16:30～18:30 全6日 (10月4日(水)は9時30分～10時)

募集人数 100名 (定員を超えた場合は抽選となります。)

会場 北海学園大学豊平校舎 7号館 020番教室

受講料 無料

■10月4日(水)	日本経済新聞社 編集長 流通経済講座委員	井本 省吾氏
■10月18日(水)	(株)流通科学 副社長 (株)西友 五代副社長 (株)エスエス 専務取締役社長	木内 政雄氏
■11月1日(水)	経済大学 学長	渡辺 利夫氏
■11月15日(水)	(株)金沢ディー・アパレル 社長取締役社長	安部 修仁氏
■11月29日(水)	(株)ニトリ 代表取締役社長	藤原 秀次郎氏
■12月13日(水)	(株)ニトリ 名誉会長特別顧問	岡田 卓也氏

※講師の都合により変更の可能性があります。予めご了承ください。

募集締切り:9月20日(水)必着

正社員、パート、アルバイト、学生、教職員、その他、お申し込みの上お申し込みが必要ありません。また、ホームページでもお申し込みいただけます。受講料は発行済の「受講案内」に記載いたします。

受講条件: 原則として定員が満員まで受け付けます。

*定員が満員になった場合は、抽選となります。*定員が満員になった場合は、抽選となります。*定員が満員になった場合は、抽選となります。*

北海学園大学経営学部事務室 TEL.011-841-1161 (FAX)011-841-1162

〒152-8505 札幌市豊平区加茂4丁目4-3 <http://www.ba.hokkai-u.ac.jp>

(地下鉄東豊線「加茂」駅より徒歩1分)

図表4 ニトリ寄附講座『流通・サービスを科学する』後期講義の活動報告

後期テーマ：『新たなビジネスモデルの構築にむけてー流通・サービスにおける地域化（リージョナリズム）とグローバル・スタンダードー』

日程：2006年10月4日～12月13日、隔週水曜日16：30～18：30

会場：7号館D20番教室

概要：流通・サービスに関する世界的規模でのトレンドを明らかにするとともに、グローバルなビジネス環境や、注目を集めているアジア（特に中国）の動向などについて、さまざまな角度から検討を加えるものであります。講座の概要は、現在の変革期において全国、全世界で競争力を発揮するビジネスモデル、流通・サービスにおけるグローバル・スタンダードの動向、高度情報化社会を迎えたグローバル時代の流通・サービスの未来、注目を集めているアジア（特に中国）の動向、新たな動きとしてのコミュニティを基盤としたNPOやスモールビジネスの動きなどであります。グローバル化、ユビキタス化、高度情報化の進展によって、グローバルな規模での標準化（＝グローバル・スタンダード）が市場を席卷するのか、コミュニティ単位でのきめ細かな展開が競争優位を生むのか、今後の各企業の戦略展開や世界的な研究成果なども踏まえた講座を開講しました。

月 日	講 師	タイトル	聴講者
1 10月4日(水)	日本経済新聞社編集局流通経済編集委員 井本省吾	流通再編	230
2 10月18日(水)	(株)良品計画創業者 (株)西友元代表取締役社長 (株)花良品代表取締役会長 木内政雄	世界小売業の動向と今後	300
3 11月1日(水)	拓殖大学学長 渡辺利夫	日中関係はどこに向かうか	220
4 11月15日(水)	(株)ニトリ代表取締役社長 似鳥昭雄	プロフェッショナル心得帳	220
5 11月29日(水)	(株)しまむら代表取締役会長 藤原秀次郎	しまむらの事業哲学	170
6 12月13日(水)	イオン(株)名誉会長相談役 岡田卓也	日本の小売業の変遷 小売商人として60年	360
		延べ	1,500
		平均	250
		前期延べ(12講分)	4,240
		合計	5,740
		平均	319



2. ニトリ寄附講座の出版活動

図表5 ニトリ寄附講座の2006年度出版活動

本書『ホッカイドリームソーダ』は、ニトリ寄附講座として2005年に行われた北海道発で日本を代表する企業の経営者、経営幹部9人の講演録であります。この講座では、主に各経営者の成功に至る軌跡を講演していただきました。魅力的な経営者の講演を聴くことは、その人への憧れや自分自身の目標を生み出します。第一線で活躍する現役の経営者が一堂に講演することはめったになく、その意味で、本書は大変貴重な講演録といえます。

経営者の歩んでこられた道は決して一様ではないが、根底に流れる共通の思い、独自性を比較・考察することはとても有意義です。本書は成功の裏にある多くの失敗談を含んでいます。この活きたメッセージは、多くの人に、企業経営に対する指針を与えるものです。これから自分自身のキャリアデザインを描く学生のみならず、起業家、経営者、経営幹部、新入社員に必読の書として薦めます。



北海学園大学経営学部ニトリ寄附講座運営委員会監修『ホッカイドリームソーダ』出版／中西出版，1,500円（税込）

講演者：

株式会社アレフ代表取締役社長 庄司 昭夫
石屋製菓株式会社

代表取締役 石水 勲

ホームック株式会社

代表取締役会長兼最高経営責任者 前田 勝敏

加森観光株式会社

代表取締役社長 加森 公人

株式会社ニトリパブリック

代表取締役社長 芝田庄一郎

株式会社アークス

代表取締役社長 横山 清

株式会社ニトリ 専務取締役 杉山 清

株式会社アインファーマシーズ

代表取締役社長 大谷 喜一

株式会社ニトリ代表取締役社長 似鳥 昭雄

3. 産官学連携事業（北海道経済産業局）

図表6 北海道経済産業局との共同政策研究の推進

北海道経済産業局と包括的な協力関係を築き、産官学連携活動を積極的に推進しています。今まで、北海道経済産業局の施策検討に関する産官学連携は、主に公立系大学が主流であったが、本件の共同政策研究に始まる一連の連携は、初めて道内私立大学の社会科学系学部と産官学連携活動を推進していくもので、先進的な事例であります。

① 共同政策研究：『産業人財開発プログラム』について

北海道経済産業局の推進事業に関して、共同政策研究を推進しています。産業に係る「人材」の活用・育成等の戦略的推進を図るため、関連政策プログラムを構築するワーキングチームを組成し、「産業人財開発プログラム」としてとりまとめ、現在、北海道経済産業局の主力施策としての構想の推進と具体的事業の実施に移行しています。

② 「北海道型産業人財ロールモデル提言会」の開催について

北海道経済産業局との共同政策研究の推進にあたり、公開で産業界識者から関連意見聴取を行う「北海道型産業人財ロールモデル提言会」を共同で開催しました。これは、北海道型産業人財として目指すべき姿を、実際の有識者の方に提言していただき、北海道における産業人財像の雛形を創造し、産業に係る「人材」の活用・育成等の方向性を提示するものであります。

提言者：

宋 文洲（ソフトブレーン㈱代表取締役会長）
高江智和理（㈹北海道光生舎理事長）
王 一郎（㈱シルクロードグループ代表取締役）
庄司 昭夫（㈱アレフ代表取締役社長）
小砂 憲一（㈱アミノアップ化学代表取締役）
佐藤 良雄（㈱キャリアバンク代表取締役）

③ 『北海道型産業人財ロールモデル提言集』の刊行について

「北海道型産業人財ロールモデル提言会」での成果を、経営学部の編集により、『北海道型産業人財ロールモデル提言集』としてとりまとめ、北海道経済産業局にて刊行したものであります。このような提言集は画期的な取り組みといえ、広く北海道人材の「ロールモデル（手本）」となり、意欲的なチャレンジにつながることを期待されています。

ダウンロード・サイト＝http://www.hkd.meti.go.jp/hokij/rolemodel_t/index.htm

問い合わせ先：事務局

北海学園大学経営学部 田中 史人 MAIL：fumito@hgu.jp

4. 北海学園大学経営学部 秋の産学連携講座 『金融証券講座』

図表7 秋の産学連携講座「金融証券講座」の案内

経営学部
秋の産学連携講座

金融証券講座

北海学園大学(経営学部)は、(株)北海道銀行、野村證券(株)との連携で、
金融証券に関する公開講座を開催し、開かれた学びの場を創造しております。
多くの方に興味を持っていただけることを祈っています。

<div style="text-align: center; background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px;"> 1 10/25 </div> <p style="text-align: center;">日本の 株式市場の歴史</p> <p style="font-size: small;">野村證券(株) 札幌支店 お客様サービス 課長</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">講師 町田 敦司</p>	<div style="text-align: center; background-color: #003366; color: white; padding: 5px;"> 2 11/8 </div> <p style="text-align: center;">証券投資の リスクターンについて</p> <p style="font-size: small;">野村證券(株) 札幌支店 お客様サービス 課長</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">講師 町田 敦司</p>
<div style="text-align: center; background-color: #006633; color: white; padding: 5px;"> 3 11/22 </div> <p style="text-align: center;">銀行から見た ベンチャー育成について</p> <p style="font-size: small;">(株)北海道銀行 法人営業部 課長佐</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">講師 池田 淳</p>	<div style="text-align: center; background-color: #cc6633; color: white; padding: 5px;"> 4 12/6 </div> <p style="text-align: center;">これからの日本と 資本市場の果たす役割</p> <p style="font-size: small;">野村證券(株) 野村グループ本社 コーポレート・コミュニケーション/総務課 シニア・アドバイザー/シニア・アドバイザー</p> <p style="text-align: center; background-color: black; color: white; padding: 5px;">講師 池上 浩一</p>

会場 北海学園大学 7号館 D20教室

時間 PM6:00 ~ PM7:15

募集人数 一般/100名 学生/200名
(当日定員制・入場無料)

連絡先 北海学園大学 経営学部(大平、大塚)
TEL:011-841-1161

北海学園大学 経営学部

図表 8 秋の産学連携講座「金融証券講座」の活動報告



名 称 「金融証券講座」

目 的 北海学園大学経営学部は、(株)北海道銀行、野村証券(株)と連携して金融証券に関する公開講座を開講し、開かれた知的な刺激の場を学生と一般の方に提供しています。

期 間 2006年10月25日より12月6日

性 質 (株)北海道銀行と野村証券(株)による経営学部への寄附講座（講師派遣）

内 容 金融証券講座

第1回 10月25日

『日本の株式市場の歴史』野村証券(株) 町田敦司講師

第2回 11月8日

『証券投資のリスクリターンについて』野村証券(株) 町田敦司講師

第3回 11月22日

『銀行から見たベンチャー育成について』(株)北海道銀行 池田 淳講師

第4回 12月6日

『これからの日本と資本市場の果たす役割』野村証券(株) 池上浩一講師（写真：左上）

参加者 4日間で約600人

5. 北海学園大学経営学部 産学連携講座
『金融特別講座』

図表9 産学連携講座「金融特別講座」の案内

図表 10 産学連携講座「金融特別講座」の活動報告



名 称 「金融特別講座」

期 日 2006年12月20日

内 容 北海道に関する金融関連講演

問題提起 北海道生産性本部 専務理事 南 幸衛講師 (写真：右上)

講演1 『事業創造に取り組む』

日本政策投資銀行 北海道支店長 石森 亮講師 (写真：左下)

講演2 『金融面から見た北海道の現況と道内金融機関の課題』 (写真：右下)

日本銀行 札幌支店長 上野正彦講師

参加者 約200人

6. 北海学園大学経営学部 企業研修

図表 11 「企業研修」の学生、大学、研修先企業・団体等の活動報告

	学 生	大 学	研修先企業・団体等
11月		次年度実習先への受入要請 「企業研修」カリキュラムの概要策定・ 募集要項の決定 次年度『「企業研修」ガイドブック』の 作成	次年度：実地研修カリキュ ラムの調整（企業概要の作 成・確認）
12月	履修生募集説明会への参加 履修申込書類の提出	履修生募集説明会開催	
1月	面接日時・場所の確認	面接日時・場所の発表	
2月 ↓ 3月	面接 選考結果の確認	履修申込者に対する面接 選考・可否の決定 可否の発表 (追加募集・履修生追加募集説明会)	
4月	履修登録 健康診断の受診 事前指導（一斉・個別）受講開 始	『「企業研修」ガイドブック』の発送 事前指導（一斉・個別）開始	『「企業研修」ガイドブッ ク』の受取
5月	実地研修先の決定 実習に向けての準備	実地研修先と履修生とのマッチングおよ び発表 研修先との連絡・調整 (担当者の確認)	
6月	「企業研修」保険料の支払い 研修先への挨拶・事前打ち合わせ 研修内容・日程等の確認	研修先に対する研修生依頼の通知 研修先との「覚書き」締結 研修内容・日程等の確認	研修生依頼通知の受取 大学との「覚書き」締結
7月	研修先へ「誓約書」等書類提出 事前指導レポートの提出 結団式	事前指導レポートの受取 結団式	研修生との事前打ち合わせ 研修内容・日程等の決定 「誓約書」等書類の受取
8月	研修先での実地研修 (～9月中旬) 「報告書」の作成・提出	研修先に「研修生評価表」を渡す 研修中、研修先への訪問 「報告書」の受取	研修生の受入、指導 (～9月中旬)
9月	事後指導受講	「研修生評価表」の受取 事後指導、報告会の準備	「研修生評価表」の提出
10月	報告会での報告（修了証授与） 報告会用：Power Pointの提出	報告会、Power Pointの受取成績提出	報告会への参加

※ 研修先企業と大学との協定書締結は随時行う（新規のみ）。



図表 12 「企業研修」の報告会と実地研修先企業・団体

業 種	実地研修先企業・団体
製 造	株式会社 日立製作所 北海道支社
製 造	株式会社 日立ハウステック東日本 北海道支店
製 造	ベル食品株式会社
製 造	マルキチ食品株式会社
製 造	石屋製菓株式会社
製 造	株式会社 アイワード
製 造	ミサワホーム北海道株式会社
小 売	株式会社 ニトリ
小 売	株式会社 ツルハ
小 売	株式会社 アークス
小 売	ホームマック株式会社
小 売	丸善株式会社 札幌支店
卸 売	丸水 札幌中央水産株式会社
卸 売	大槻食材株式会社
物 流	苫小牧埠頭株式会社
情報・通信	パナソニック SS マーケティング株式会社 北海道社
情報・通信	富士通オフィス機器株式会社 北海道支店
情報・通信	アイ・ティ・エス株式会社
観 光	三井観光開発株式会社 (札幌パークホテル)
観 光	加森観光株式会社
サ ー ビ ス	株式会社 アレフ
サ ー ビ ス	社会福祉法人 北海道光生舎
サ ー ビ ス	早稲田セミナー 札幌校
サ ー ビ ス	株式会社 ニトリパブリック
サ ー ビ ス	株式会社 ハダシ
金 融	株式会社 北海道銀行
そ の 他	恵庭リサーチ・ビジネスパーク株式会社
そ の 他	北海道中小企業家同友会産学官連携研究会 (HoPE) 会員企業



7. 第4回経営学部の市民公開講座『ヒューマンエラーの心理学』（後援：札幌市教育委員会）

図表 13 第4回市民公開講座『ヒューマンエラーの心理学 Part 2—誤解が生じるメカニズム』の活動報告



図表 14 第 4 回市民公開講座『ヒューマンエラーの心理学
Part 2—誤解が生じるメカニズム』の活動報告

テーマ：『ヒューマンエラーの心理学 Part 2—誤解が生じるメカニズム』

日 程：2006 年 11 月 11 日～12 月 9 日（全 5 回）

会 場：7 号館 D 30 番教室

概 要：昨年，好評だった市民公開講座『ヒューマンエラーの心理学—人はなぜ誤るのか？』
に続く第二弾として，今年度のテーマは『ヒューマンエラーの心理学（Part 2）—誤
解が生じるメカニズム』としました。この講座では，①言葉の文脈（語用論）による
ディスコミュニケーション（第 1 回），②推論の仕方にもとづくディスコミュニケーション
（第 2 回），③ディスコミュニケーションの日常的な役割に対する評価（メタ
認知）（第 3 回），④コミュニケーションとディスコミュニケーションを区別する人間
的な要因（第 4 回），についての講義を通じて，誤解が生じるメカニズムに迫ります。

	月 日	講 師	タイトル	聴講者
1	11 月 11 日	小 島 康 次	「誤解を生み出す文脈—子どもから詐欺師まで」	107
2	11 月 18 日	佐 藤 淳	「誤解の心理学—知識獲得における推論の不足」	100
3	11 月 25 日	田 村 卓 哉	「誤解の功罪—広義の誤解と適応性」	89
4	12 月 2 日	後 藤 啓 一	「理解と誤解の狭間のなかで—絶えない人間関係のトラブル」	98
5	12 月 9 日	シンポジウム	「ヒューマンエラーの心理学—誤解が生じるメカニズム」 (司会・小島)	81



8. 海外総合実習プログラム

図表 15 実施目的と実施概要

● ねらい：

国際社会や国際企業の実体験を通じて、語学教育と専門教育との有機的結合を図るものである。通年科目であるが、特に夏休み中にカナダの提携校での学習や現地企業訪問が特色である。ねらいとして、

- ① 経営学部の専門科目で学習したトピックを海外との比較研究という観点から調査・研究すること
- ② 英語の実践的な運用能力の向上を図ること
- ③ 現地の主要産業、文化、マネジメントスタイルを学ぶこと

などがあげられる。

- ・カナダの主要産業、文化、マネジメントスタイル等を学ぶこと、経営学部の専門科目で学習したトピックをカナダとの比較研究という観点から調査、研究すること、及び、英語の実践的な運用能力の向上を図ることを目的とし、カナダの姉妹大学である、レスブリッジ大学の経営学部との交流を基盤にした。
- ・海外総合実習は、事前研修、現地研修、事後研修の3つより構成され、2006年度は現地研修がカナダ、レスブリッジ大学経営学部（エドモントンキャンパス、レスブリッジキャンパス）で行われた。
- ・カナダで行われる授業とは別に、各学生が経営学部の専門科目やゼミで学んだ内容に関連する研究テーマを決め、1年間をかけて、調査し、まとめ、発表するというを行う。
- ・2006年度は 一部3年生 9名（男子学生4名、女子学生5名）と引率2名で行った。



図表 16 事前・現地・事後研修の概要

事前研修

5月上旬より7月下旬

- ・レスブリッジ大学 ESL の特別オンラインコースでの英語学習
- ・学生が各自選んだテーマに基づいた調査・研究のテーマの決定
- ・調査目的に従い、アンケートの質問事項を準備
- ・英語による、リサーチプロポーザルの発表

現地研修

8月6日より8月27日

(至レスブリッジ大学 エドモントンキャンパス, レスブリッジキャンパス)

研修内容：英語集中授業，ワークショップ及び，主要産業現場訪問，企業訪問（5件）
ワークショップ：オイルサンド，林業，観光業，日系人社会，起業家ワークショップ
訪問企業：Syncrude, Suncor, Japanese Canadian Oil sand Company（オイルサンド業）

West Frazor（パルプ業）

BETAP（先住民族支援を視野にいれた牧草業）

Sakai Spice（日系企業－芥子，わさび製造）

Pratt & Whitney（ヘリコプターのエンジン製造）

（カナダのマネジメントスタイルの例として）

文化体験学習：アルバータ州 議事堂（カナダの歴史）

フォークミュージック・フェスティバル（多文化，多民族）

カナディアン・フットボール（国民の人気娯楽）

バンフ（観光業）

Head-smashed-in Buffalo Jump（ユネスコ文化遺産）

プレゼンテーション：学生は週1回のペースでプレゼンテーションを行う

① カナダ文化を観察して

② ホストファミリーの紹介

③ オイルサンド業・パルプ業（グループ研究）

④ 最終プレゼンテーション

（事前研修で準備した内容について，カナダで収集したデータをもとにした発表）

宿 泊：エドモントン：ホームステイ

レスブリッジ：大学寮

各自の研究・調査：エドモントン及びレスブリッジ市民へのアンケート調査，インタビュー等

事後研修

9月1日より12月10日

- ・本研修での調査資料の英語によるまとめ，プレゼンテーション準備
- ・12月10日 英語による公開プレゼンテーション



図表 17-1 現地研修の日程表

月 日	時	内 容
8月6日(日)	10:30 a.m. 3:40 p.m. 12:40 p.m. 9:35 p.m. 11:25 p.m.	羽田行き (JL 1010) 成田発 (NW 020) ミネアポリス着 ミネアポリス発 (NW 1023) エドモントン着 Naomi Bake さん (エドモントンのコーディネーター) ご夫婦が迎えに来てくれる。オーロラを目撃。 宿泊 <i>Canterra Suites and Hotel</i>
8月7日(月)		Statutory Holiday: ヘリテイジデイ (各国の移民が出身文化を懐かしみ、祝う祭り。大きな公園で行う。今年は 58 カ国が出展。日本の出展もあった。) 宿泊 <i>Canterra Suites and Hotel</i>
8月8日(火)	10:00 a.m. 1:00 p.m. 4:30 p.m.	これからの 3 週間のプログラムに関するオリエンテーション。 第 1 回 ESL 授業 8 月 17 日までお世話になるホストファミリーとの対面のため, Hawryluk Park でのバーベキューパーティー。 宿泊 <i>Homestay</i>
8月9日(水)	9:00 a.m. 1:00 p.m. 2:30 p.m. 5:00 p.m.	第 2 回 ESL 授業 アルバータ州政府の議事堂の見学。アルバータ州の歴史の学習。 州議事堂前 データ収集 Homestay Pick-up 宿泊 <i>Homestay</i>
8月10日(木)	9:00 a.m. 1:00 p.m. 3:00 p.m. 11:00 p.m.	第 3 回 ESL 授業 Free Time Folk Music Festival 民族音楽, 現代のフォークミュージック等の大きな祭典。学生はここでもデータ収集。あいにくの雨であった。 終了が夜の 11 時であり, スタッフが各ホストファミリー宅まで送ってくれる。 宿泊 <i>Homestay</i>
8月11日(金)	9:00 a.m. 1:00 p.m. 5:30 p.m.	ESL Presentations (1) 1 週間を振り返って, ホストファミリーを通して感じたカナダの文化, 習慣に関するプレゼンテーション。 Workshop Oil/Gas アルバータの今の経済の繁栄のもとである, オイルサンドに関するワークショップ。 Leave for CFL Football game カナダルールフットボール観戦。エドモントン・エスキモーズを応援。あいにくの雨。ゲームの前にショッピングモールでご飯。 終了が 10 時過ぎで, スタッフが学生を各ホームステイ先まで送ってくれる。 宿泊 <i>Homestay</i>
8月12日(土)	9:00 a.m.	West Edmonton Mall - English tasks/Data collection ウェスト・エドモントン・モールに出かけ, ESL のタスク, 及びデータ収集。学生はほとんど買い物もせず, データ収集のために市民に積極的に声をかけていた。 Homestay pick-up 夕方ホストファミリーが迎えに来る。 宿泊 <i>Homestay</i>
8月13日(日)	9:00 a.m. 6:00 p.m.	Depart for Ft. McMurray オイルサンドの町, フォート・マクマリーに向けて出発。 Dinner フォートマクマリーの Motel 8 に泊まる。 宿泊 <i>Super 8 Motel</i>

図表 17-2 現地研修の日程表

月 日	時	内 容
8月14日(月)	10:00 a.m.	Oil Sands Interpretive Centre Tour Syncrude オイルサンドの説明を受け、大手石油掘削会社のシンクルード社及び、サンコー社の現場見学。(外から)
	1:00 p.m.	Japanese Canadian Oil Sand Company 日本カナダオイルサンド会社 (JACOS) 現場見学及び説明を受ける。2時間ほどお付き合いくださる。In-situ という方法でのピチューメン抽出。
	4:00 p.m.	Depart for Edmonton Homestay Pick-up 宿泊 Homestay
8月15日(火)	9:00 a.m.	Workshop: Alberta Tourism アルバータの観光業に関するワークショップ。
	12:00 p.m.	Lunch
	1:00 p.m.	Workshop: Forestry: アルバータ州の林業に関するワークショップ。 宿泊 Homestay
8月16日(水)	7:00 a.m.	バルブ産業見学のため、ヒントンに向けて出発。
	12:00 p.m.	Arrival/Lunch
	1:00 p.m.	ウエスト・フレーザー社見学。バルブ工場、及び膨大な管理資源である、森林を見る。“Sustainability” がキーワードである。
	12:00 a.m.	Return to Edmonton エドモントン帰着 深夜12時 Homestay Pick-up 宿泊 Homestay
8月17日(木)	9:00 a.m.	Presentations プレゼンテーションの準備等。
	5:00 p.m.	“Metro” Farewell Party メトロというレストランでホストファミリーとのお別れ会。 ホストファミリーとの最後の夜。
		宿泊 Homestay
8月18日(金)	10:00 a.m.	Depart for Banff (Caribou Lodge) バンフに向けて出発。 バンフの街を探検、及びデータ収集。
	6:00 p.m.	Dinner (ギリシャレストラン) 宿泊 Caribou Lodge (Banff)



図表 17-3 現地研修の日程表

月 日	時	内 容
8月19日(土)	8:30 a.m. 9:30 a.m. 2:30 p.m. 5:00 p.m. 6:30 p.m.	もうひとつのプログラムで来ている学生と朝食。 Lake Louise に向けて出発。 Lake Louise 等, 観光地訪問。 Banff にむけて出発。 Dinner イタリア料理屋 Delta Lodge Kananaskis 到着。 ホテルの会議室を借りて夜中12時までグループ・プレゼンテーションの為に勉強。 宿泊 <i>Delta Lodge Kananaskis</i>
8月20日(日)	8:30 a.m. 9:00 a.m. 5:00 p.m. 6:30 p.m. 11:00 p.m.	Breakfast Adventure at Boundary Ranch にて乗馬, ラフティングで自然を満喫。 Dinner バスの中でパスタ弁当を食べる。 Lethbridge に向けて出発。 レスブリッジ大学着。(夜中) 寮生活開始 Residence (Kainai) 宿泊 <i>Kainai Residence</i>
8月21日(月)	10:30 a.m. 12:00 p.m. 1:00 p.m. 5:30 p.m.	Light Breakfast and Orientation to U of L (Kainai 200) レスブリッジ大学のオリエンテーション。 学内でランチ。 ESL (C630) 第4回 ESL 授業 Presentation (2) グループ・プレゼンテーション Oil Sand group と Forestry group に分かれてのプレゼンテーション (ワークショップ, 及び現地見学資料をもとに)。 スーパーで夕食の買い物, 夕食後バレーボール。 夕食後はカナダで集めたデータの集計, 及びプレゼンテーション準備。 宿泊 <i>Kainai Residence</i>
8月22日(火)	7:30 a.m. 9:00 a.m. 1:00 p.m. 3:00 p.m. 6:00 p.m.	Woop-up day のパレード見学及びデータ収集。 ESL (C630) 第5回 ESL 授業 日系カナダ人の方々のお話を聞く。(ワークショップ) * Mrs. Eya Hironaka * Yoshitaka Kinjo (Lethbridge Okinawa Club President, Owner) * David Tanaka (Taka Karate School, President, Nikkei Cultural Society) * Dr. Rochelle Yamagishi (author, "Nikkei Journey") Sakai Spice 日系企業であるサカイスパイスの工場見学。日本の納豆の芥子, キューピーの芥子がここで作られる。 日加友好ガーデンの見学。(案内して下さった方に学生は質問攻め) 夕食後はカナダで集めたデータの集計, 及びプレゼンテーション準備。 宿泊 <i>Kainai Residence</i>



図表 17-4 現地研修の日程表

月 日	時	内 容
8月23日(休)	9:00 a.m. 1:30 p.m. 3:00 p.m. 6:00 p.m.	ESL (C630) 第6回 ESL 授業 Native Dance ユネスコ文化遺産の Head-smashed-in Buffalo Jump を見に行く。 先住民族のブラックフット族の踊りを見る。 BETAP* Tour ブラッド族の牧草地 (日本に牧草を輸出) を見学。 * Harley Frank: President Kainaiwa Resources Council Member, Blood Tribe Former Chief, Blood Tribe * Campbell Eagle Child: BETAP Manager ESL インストラクターの Jody のお宅訪問。(BBQ) 最終プレゼンテーションの準備。 夕食後は夜中まで最終プレゼンテーションの準備。 宿泊 <i>Kainai Residence</i>
8月24日(休)	9:00 a.m. 1:00 p.m. 3:00 p.m. 6:30 p.m.	ESL (C630) 第7回 ESL 授業 Small Business Workshop (with Local Entrepreneurs & Business people) (C 630) アルバータで起業することについてのワークショップ。 * Bonnie Elliot, former Director Alberta Women's Enterprise Initiative Assoc. * Bruce Thurston President/CEO: Management Resource Services * Craig Milner, co-owner: East Side Mario's Consultant, GIO Consultants Site Visits: Pratt & Whitney/ヘリコプターのエンジンを作っている会社の工場見学。"チームワーク"に関するマネージャーの説明が興味深い。 Bill Halley, General Manager, Pratt & Whitney フェアウェルパーティー, しかしその後は最終プレゼンテーションの為の準備(徹夜...) 宿泊 <i>Kainai Residence</i>
8月25日(金)	9:00 a.m. 12:00 p.m. 4:30 p.m.	Final Presentations (3) (C 630) 各自のリサーチテーマに関する発表。(カナダで収集したデータを元にして) 昼食後引き続きプレゼンテーション。 終了後大急ぎで荷造り。 カルガリーに向けてバスで移動。 宿泊 <i>Calgary - Delta Airport Hotel</i>
8月26日(土)	8:00 a.m. 11:40 a.m. 3:05 p.m.	カルガリー発 (NW 1542) ミネアポリス着 ミネアポリス発 (NW 019)
8月27日(日)	5:15 p.m. 8:30 p.m. 10:00 p.m.	成田着 羽田発 (JL 1041) 新千歳着



9. 高校生向け授業（出前講義，高大連携授業）



図表 18 出前講義の活動報告

日 程	学 校 名	担当教員	テ ー マ
6月1日(休)	登別緑陽中学	春日 賢	『「大学入門」～経営学の場合～』
6月9日(金)	帯広大谷	澤野 雅彦	『経営学とは何か』
6月12日(月)	女満別	春日 賢	『「良い企業とは？」～そもそも会社ってなんだろう～』
6月20日(火)	長沼	石井 晴子	『Communication Strategies (Oral communication)』
6月21日(水)	石狩南	伊藤 友章	『プレステは何故一人勝ちできたのか』
6月22日(木)	札幌西陵	田村 卓哉	『「脳とこころの不思議な関係」～『幻肢』を手がかりに～』
6月27日(火)	えりも	伊藤 友章	『「コンビニエンスストアの仕組み」～なぜ1日3回トラックがやってくるのが可能なか～』
7月5日(水)	滝上	大平 義隆	『「ソトもの、ワカもの、バカもの」が組織の未来を開く』
7月26日(水)	八戸南	大平 義隆	『「ソトもの、ワカもの、バカもの」が組織の未来を開く』
7月27日(木)			
8月5日(土)	札幌静修	伊藤 友章	『「コンビニエンスストアの仕組み」～なぜ1日3回トラックがやってくるのが可能なか～』
8月9日(水)	八雲	田中 昭憲	『スポーツに必要な基礎的動作の能力アップ法』
		春日 賢	『「良い企業とは？」～そもそも会社ってなんだろう～』
8月24日(水)	森	鈴木 修司	『間違いだらけの意思決定』
9月14日(水)	函館北	竹田 憲司	『「実技 運動部のトレーニング」～ストレッチングを使い分ける～』
9月19日(火)	旭川北	田中 昭憲	『スポーツに必要な基礎的動作の能力アップ法』
		竹田 憲司	『「実技 運動部のトレーニング」～ストレッチングを使い分ける～』
9月19日(火)	枝幸	大平 義隆	『「ソトもの、ワカもの、バカもの」が組織の未来を開く』
9月20日(水)	稚内商工		
9月21日(木)	豊富		
9月28日(水)	浦幌	田中 昭憲	『スポーツに必要な基礎的動作の能力アップ法』
10月21日(土)	立命館慶祥	田中 史人	『「アントレプレナーシップ（起業家精神）とベンチャー企業の経営」～起業すること～』
10月23日(月)	旭川商業	石井 晴子	『Communication Strategies (Oral communication)』
11月7日(火)	滝川西	春日 賢	『「ポータブル経営学」～新聞記事に見る経営～』
11月13日(月)	札幌北斗	春日 賢	『「日本の会社と社会①」～クローネコヤマの宅急便と社会的価値～』
11月20日(月)	札幌厚別	田村 卓哉	『「脳とこころの不思議な関係」～『幻肢』を手がかりに～』
11月21日(火)	岩見沢緑陵	鈴木 修司	『間違いだらけの意思決定』
11月29日(水)	中標津	大平 義隆	『「ソトもの、ワカもの、バカもの」が組織の未来を開く』
12月4日(月)	札幌静修	鈴木 修司	『間違いだらけの意思決定』
12月12日(火)	紋別北	伊藤 友章	『「プレステは何故一人勝ちできたのか』
12月13日(水)	恵庭北	鈴木 修司	『間違いだらけの意思決定』
1月18日(水)	札幌創成	マツネ・マーゲルマス	『Oral Communication Demonstration Lesson』
1月23日(火)	岩見沢緑陵	伊藤 友章	『「コンビニエンスストアの仕組み」～なぜ1日3回トラックがやってくるのが可能なか～』
2月1日(水)	北広島西	増地あゆみ	『「自分を知る」～自己理解について～』



図表 19 高大連携授業の活動報告

日時	担当教員	論 題
6月17日	鈴木修司	「見えないモノを科学する～ココロを調べる方法～」
7月1日	内田昌利	「会計学を通じて人間を知る」
9月30日	田中史人	「北海道の経営者像」

10. 就職内定状況

図表 20 2006 年度経営学部卒業予定者の主要内定先

業 種 等	内定先 (2007 年 1 月末現在)
公務員	北海道労働局 (国家II種), 北海道職員 (中級), 札幌国税局, 北海道警察, 警視庁, 神奈川県警察
各種団体	国立大学法人 (北大), 日本郵政公社 (総合職), 札幌商工会議所, ホクレン農業協同組合, 北海道信用保証協会, 札幌市農業協同組合, 北海道信漁連, 函館市亀田農業協同組合, 南幌町農業協同組合, 吉岡経営センター, 我汝会えにわ病院, 愛心メモリアル病院
銀行業	北洋銀行, 北海道銀行, 札幌銀行, 北陸銀行, 札幌信用金庫, 北海道リース, 北門信用金庫, 空知信用金庫, 稚内信用金庫, 遠軽信用金庫, 室蘭信用金庫, 北海信用金庫, 空知商工信用組合, 札幌中央信用組合
証券業	野村證券, 大和証券, 三菱 UFJ 証券, みずほインベスターズ証券, 岡三証券, 日興コーディアル証券
保険業	東京海上日動火災保険, 日本生命保険, 第一生命保険, 北栄保険サービス
運輸, 通信業	JR 北海道, NTT 東日本, 札幌通運, 北海道北見バス, 道南バス, よつ葉物流, 三ツ輪運輸
出版, 印刷業	凸版印刷, 道新サービスセンター, 北海道アルバイト情報社, DNP 北海道, ピーアールセンター, 北日本広告社
サービス業 (教育, 人事)	リクルート, 毎日コミュニケーションズ, キャリアブレイン, 練成会グループ
サービス業 (旅行)	JTB 北海道, ANA セールス北海道, トップツアー
サービス業 (ホテル, 飲食店)	アレフ, デニーズジャパン, JAL スカイ関西, テンフードサービス, 幸楽苑
その他サービス業	東急エージェンシー, ニチイ学館, サニクリーン北海道, カナモト, アメニティ北海道, イオンクレジット, 恵和ビジネス
情報通信業	北海道日本電気ソフトウェア, 北海道日立情報システムズ, 富士通サポートアンドサービス, 北海道リコー, 富士ゼロックス北海道, 兼松コミュニケーションズ, 大塚商会, 日本システムコンサルタント, オービックビジネスコンサルタント, CSK システムズ, ジュビターテレコム, アルファシステムズ, 札幌オフィスコンピュータ, 電脳, トランスコスモス, SiU, コンピュータマネジメント, NBC コンサルタンツ, テレウェイブ
小売業	丸井今井, セブン-イレブンジャパン, セイコーマート, ユニクロ, ラルズ, ホーマック, マックスバリュ北海道, 石屋商事, 東急ストア, ツルハ, 北一硝子, アインファーマシーズ, 長谷川産業, サッポロドラッグストア, 大丸藤井, ヨドバシカメラ, ニッセン, 六花亭製菓, ユナイテッドアローズ
卸売業	花王販売, 日本アクセス北海道, ムトウ, 北海道エナジテック, 竹山, ナラサキ産業, ナシオ, クラヤ三星堂, 石垣電材, モロオ, 国分
食料品製造業	伊藤園, 日本食研, 東日本フード
土木, 建設業	鴻池組
自動車販売業	札幌トヨタ自動車, 札幌トヨペット, ネットトヨタ道都, トヨタレンタリース札幌, トヨタレンタリース新札幌, 北海道日産自動車, 日産プリンス, ホンダカーズ南札幌, 札幌ホンダグループ
不動産業	朝日ビルマネジメント, レオパレス 21, 北海道振興
その他製造業	田辺製薬, トヨタ部品北海道共販, デンソー北海道, 日鐵セメント, 大和冷機工業, 文化シャッター, 不二サッシ, ホクトヤンマー, フジキン, ロックペイント, パーペル

注 1) 認定心理士の資格は, 2001 年度~2005 年度までの 5 年間で 52 名が取得しました。また, 2006 年度卒業生の取得予定者は 23 名です。

注 2) 学校教員には, 2003 年度~2006 年度までの 4 年間で 11 名が採用されています。

11. 人事異動等

図表 21 採用等・研修

採用等

種 別	氏 名	辞 令 月 日	担 当 科 目
採用	菅原 秀幸 教 授	2006 年 4 月 1 日	国際経営
採用	佐藤 芳彰 教 授	2006 年 4 月 1 日	流通システム論
採用	庄司 樹古 助教授	2006 年 4 月 1 日	簿記
採用	下村 直樹 講 師	2006 年 4 月 1 日	マーケティング・コミュニケーション
転出	穴沢 務 教 授	2007 年 3 月 31 日	情報システム

研 修

種 別	氏名等・研修期間	研 修 地
在外研修	今村 聡 助教授 2005 年 8 月 31 日～2006 年 8 月 30 日	スイス・チューリッヒ大学
在外研修	小島 康次 教 授 2006 年 7 月 20 日～2006 年 10 月 20 日	カナダ・トロント大学
交換教員 プログラム	寺田 吉孝 教 授 2006 年 9 月 10 日～2006 年 12 月 30 日	カナダ・アルバータ州レスブリッジ大学

北海学園大学経営学部事務室 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40
TEL : 011-841-1161 (代) FAX : 011-824-7729
E-Mail : admin-ba@ba.hokkai-s-u.ac.jp